

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【公表番号】特表2016-540036(P2016-540036A)

【公表日】平成28年12月22日(2016.12.22)

【年通号数】公開・登録公報2016-069

【出願番号】特願2016-549637(P2016-549637)

【国際特許分類】

C 07 C	17/02	(2006.01)
C 07 C	69/07	(2006.01)
C 07 C	69/145	(2006.01)
C 07 C	69/24	(2006.01)
C 07 C	69/63	(2006.01)
C 07 C	255/19	(2006.01)
C 07 C	253/30	(2006.01)
C 07 C	33/02	(2006.01)
C 07 C	21/215	(2006.01)
C 07 C	67/00	(2006.01)
C 07 C	68/00	(2006.01)
C 12 P	17/18	(2006.01)

【F I】

C 07 C	17/02	
C 07 C	69/07	
C 07 C	69/145	
C 07 C	69/24	
C 07 C	69/63	
C 07 C	255/19	
C 07 C	253/30	
C 07 C	33/02	
C 07 C	21/215	
C 07 C	67/00	
C 07 C	68/00	Z
C 12 P	17/18	D

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月24日(2017.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ホモアリル化合物2をシクロプロピルビニル前駆体1からブレンステッド酸HQの存在下で生成する方法であつて、

【化1】

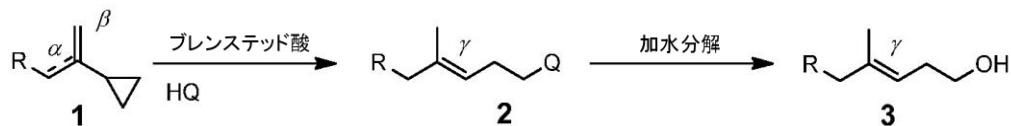


ここで、ブレンステッド酸HQは、R'CO₂Hおよび/またはHCl、HBrもしくはHIから選択されたハロゲン化水素から選択され、ここでRはC₁~₃環状、多環式もしくは非環式アルキル残基、またはアリールもしくはポリアリール残基であり、その各々は、飽和または不飽和、分枝状または直鎖状および置換または非置換であってもよく；R'は、C₁~₃アルキルまたはアリール残基であり、それは直鎖状または分枝状であってもよく、置換または非置換であってもよく、かつここでQは、R'CO₂および/またはハロゲン原子である。

前記方法。

【請求項2】

【化2】



転位生成物2の加水分解による、請求項1に記載のホモアリルアルコールを生成する方法。

【請求項3】

E/Z比率が70:30より大きく、より特定的に75:25より大きく；なおより特定的に80:20より大きい、請求項2に記載のホモアリルアルコールを生成する方法。

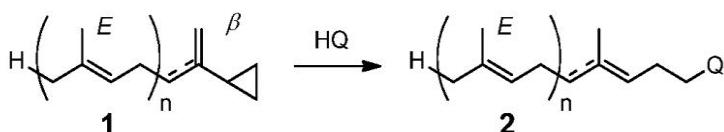
【請求項4】

残基Rが炭素-炭素不飽和を含む、請求項1~3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

基質1がポリプレノイド

【化3】



式中、nは1、2または3である、

である、請求項1~4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

基質1がシクロプロパン化ファルネセンである、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

Ambroxを生成する方法であって、請求項1~6のいずれか一項に記載の方法に従ってE,E-ホモファルネソールを生成し、このようにして生成したE,E-ホモファルネソールを、細菌酵素スクワレンホベンシクラーゼを使用して環化するステップを含む、前記方法。

【請求項8】

転位生成物2'のエステル交換および/または求核置換により、一般的構造2のエステルにし、前記エステルを水性塩基で加水分解して一般的構造3のホモアリルアルコールにする、請求項1に記載のホモアリルアルコールを生成する方法。